

# 中国の英語教科書に見られる国際理解教育の視点

葉 李可<sup>\*1</sup>・石井 由理

Education for International Understanding in English Language Textbooks in China

YE Like<sup>\*1</sup>, ISHII Yuri  
(Received December 20, 2019)

キーワード：国際理解教育、英語教育、教科書、中国

## はじめに

1990年代からの情報技術の発達によって加速したグローバル化に対応すべく、世界各国の学校教育では、ICTスキルや英語によるコミュニケーション能力の育成、自国の伝統・文化の尊重、他国との相互理解、地球的課題の解決に参加しようとする態度や行動力の育成など、様々な試みが見られる。このような教育の必要性は、戦後国際理解教育を推進してきたユネスコによって1974年に出された国際教育勧告の中で既に提唱され、加盟各国によって進められてきたものでもあるが、実際にどのように実践していくかは、加盟各国がそれぞれの社会状況に合わせて判断してきた。

本稿では、近年地球全体に対する影響力が増している中国の中学校英語教科書の分析を通して、学校教育において国際理解教育の要素がどのように取り入れられているかを考察していく。はじめに課程標準と教科書の関係を述べたのち、第二節で先行研究に基づいて国際理解教育に含まれる要素を明らかにする。第三節ではこの枠組みを用いて英語の教科書分析を行い、最後にこれらの分析結果を総括する。

## 1. 課程標準との関連

教科書の題材は教科書構成要素の中で非常に重要な存在である。そして、中国の教科書の内容は国が定めた課程標準に基づいて編集される。従って、中国の中学校英語教科書の国際理解教育題材を分析する前に、英語課程標準を分析する必要がある。そして、中国の英語課程標準の分析によって、中国の英語教科書の教育課程における国際理解教育題材に対しての特徴的な点を明らかにしたい。

中国の中学校英語教科書は、ほぼ11年に一度中国教育部によって改訂される中国義務教育段階の英語課程標準に基づいて編纂されているものである。いずれも複数の種類の教科書が出版されているが、中国の英語課程標準が中国の中学校英語教科書の編集における指針になっている。

中国の英語課程標準の中で、国際理解教育題材が占める割合に対して直接に影響を与えるのは、英語科の目標と英語教材に対しての編纂建議であるので、それを引用して分析する。近年中国は民間の教科書を審査して採用する政策を始めたが、民間と政府関連出版社の教科書のマーケットシェアから見ると、前述の政府関連の出版社の教科書が圧倒的に多くの学校で採用されているのが事実である。従って、中国の課程標準は、政府関連の出版社が発行する教科書の編纂建議を提供している。編纂建議とは中国英語教科書の編集段階において、どのような英語教材を含めるか、助言をする役割を担っている。

次に中国の中学校英語課程標準（中華人民共和国教育部，2011）にどのような目標が含まれているのかを分析していく。まず中国の課程標準に示された義務教育英語科の目標について見ていく。

\*1 山口大学教育学部附属教育実践総合センター研究紀要第49号 (2020. 3)

## 1-1 中国義務教育英語科の目標

中国の義務教育英語科の総目標は英語学習を通して、学生たちに初歩的な総合言語運用能力を身に付けさせることである。図1のように、総合言語運用能力は言語知識、言語技能、学習対策、感情態度、文化意識という五つの目標から構成されているが、そのうち、言語技能と言語知識は総合言語運用能力の基礎であり、言語学習に関する目標である。それに対して、残りの三つの目標は態度や文化、学習全般に関する具体的な目標が入り、国際理解教育と深い関連があると考えられる。よって以下では、この三つの目標について考察していく。



図1：中国義務教育段階の英語教育目標

(出典：中華人民共和国教育部(2011)『義務教育英語課程標準』北京師範大学出版社 9頁の図2に基づいて、筆者が作成)

感情態度の目標は全9項目で構成される。具体的には以下の通りである。

感情態度の目標：

- ①明確な学習目標を持ち、コミュニケーションのために英語を勉強することが認識できる。
- ②英語を勉強する意欲と趣味を持ち、各種英語実践活動によく参加する。
- ③英語を勉強する自信を持ち、英語で話すことができる。
- ④グループワークの中で積極的に他のメンバーと協力し、お互いに助け合い、共同して学習任務を遂行することができる。
- ⑤英語学習の中の楽しみを感じ取って、英語の歌、読み物等によく接触すること。
- ⑥英語コミュニケーションの中で他人の感情に注意しながら理解できること。
- ⑦問題にぶつかった時に積極的に聞いて、勇敢に困難を克服すること。
- ⑧生活の中で英語に接触する場合に、その英語の意味を探求してまねること。
- ⑨中国の文化にたいしてより深い理解ができ、基本的な(初歩的な)国際理解意識を持つこと。

文化意識の目標は全12項目で構成される。具体的には以下の通りである。

文化意識の目標：

- ①英語コミュニケーションの中でよく使われている身振り言語を理解すること。(例：手ぶり、表情等)
- ②英語の呼称及び別れる時の挨拶を適切に使うこと。
- ③違う性別でよく使われている名前を理解し、区別ができること。
- ④英語圏の国家の飲食文化を理解すること。
- ⑤他人からの称揚、請求、謝り(謝罪)等に対して適切な反応ができること。
- ⑥適切な方式で称揚、請求等を表すことができること。
- ⑦英語圏の国家の地理的な位置、気候の特徴、歴史等に関する基本的な知識を把握すること。
- ⑧英語圏国家の人々のコミュニケーションにおける礼儀文化を理解すること。
- ⑨世界の主な娯楽活動と体育活動を理解すること。
- ⑩世界の主な祝祭日及び祝い方を理解すること。
- ⑪中国と外国の文化の相違点に注意して、中国文化に対する理解を深めること。
- ⑫英語で中国の主な祝祭日と典型的な文化風俗に対する簡単な紹介ができること。

学習対策の目標は全 10 項目で構成される。具体的には以下の通りである。

学習対策の目標：

認知対策

- ①ニーズによって予習すること。
  - ②勉強している時に集中すること。
  - ③勉強している時に要点を覚えることが得意。
  - ④勉強している時に図画等の非言語情報を利用して主題を理解することが得意。
  - ⑤連想によって単語・言葉を勉強して記憶すること。
  - ⑥勉強した内容を積極的に復習して整理してまとめることができる。
  - ⑦勉強中に積極的に考えて、探求して、言語の規律を発見することが得意。そして、その規律を利用して推察力に富むことができる。
  - ⑧英語を使う時に、ミスを意識して適切に直すことができる。
  - ⑨必要な時に、効率的に母語を利用して英語を理解すること。
  - ⑩英語物語及び他の課外活動での読み物を読むことを読もうとする。
- 調節対策の目標は全 8 項目で構成される。具体的には以下の通りである。

調節対策

- ①自分が英語を勉強する目標を明確にすること。
- ②自分が学習要求を明確にすること。
- ③実情に応じて英語学習計画を立てること。
- ④学習内容の重点と難点を把握すること。
- ⑤自分が英語を学習している時に進歩と足りない点を理解して反省すること。
- ⑥積極的に自分に合った英語学習方法を探求すること。
- ⑦先生及び同級生と学習体験を積極的に交流すること。
- ⑧積極的に課内外の英語学習活動に参加すること。

交際対策の目標は全 6 項目で構成される。具体的には以下の通りである。

交際対策

- ①課内外の学習活動の中で英語で他人と交流することができる。
- ②英語交際のチャンスを見つけることが得意。
- ③交際中に、言いたいことを表現することに集中する。
- ④手振り、表情等の身振り言語を使って交流すること。
- ⑤交際中に困難にぶつかった時に効率的に助けを求めること。
- ⑥交際中に中国と外国の文化の差異を意識して注意すること。

資源対策の目標は全 4 項目で構成される。具体的には以下の通りである。

資源対策

- ①視聴覚素材を利用して勉強すること。
- ②辞典等の書籍を使ってインフォメーションを求めること。
- ③日常生活中で使われている英語とメディアで使われている英語を注意すること。
- ④図書館とインターネットの学習資源が利用できること。

(中華人民共和国教育部, 2011 筆者翻訳)

中国義務教育英語科の目標の中で特徴的な点は、文化知識と勉強方法を非常に重視していることである。例えば文化意識の二番目の目標と学習対策の七番目の目標では、「英語の呼称及び別れる時の挨拶を適切に使うこと。」及び「勉強中に積極的に考えて、探求して、言語の規律を発見することが得意。そして、その規律を利用して推察力に富むことができる。」と述べている。それによって、文化知識と勉強方法を非常に重視していることがわかるが、外国文化理解を重視していないというわけではない。例えば交際対策の中の六番目の目標「⑥交際中に中国と外国の文化の差異を意識して注意すること。」から、外国文化理解も重視していることがわかる。

以上から、中国義務教育英語科の目標の三つの特徴的な点に分かる。一つ目は中国が外国文化を理解して

学ぶことより、自国の文化を理解して宣伝することを重視しているという点である。例えば、感情態度の九番目の目標「中国の文化にたいしてより深い理解ができ、基本的な（手始めの）国際理解意識を持つこと」と文化意識の十一番目の目標「中国と外国の文化の相違点に注意して、中国文化に対しての理解を深めること」から、中国は自国文化理解を重視していることがわかる。もう一つは、学習対策という目標が入っていることがある。このことから英語スキル面を重視していることがわかる。例えば学習対策項目の五番目の目標では、「連想によって単語・言葉を勉強して記憶すること。」と述べている。最後の特徴的な点とは、中国はコミュニケーションを重視していることである。例えば、中国英語科の感情態度の六番目の目標では、「英語コミュニケーションの中で他人の感情に注意しながら理解できること。」と述べている。これによって、中国は話す相手への配慮を重視していることがわかる。

## 1-2 義務教育段階の英語教材に対しての編纂建議

中国義務教育段階の英語教材に対しての編纂建議は思想性原則、科学性原則、趣味性原則、柔軟性原則の全4原則で構成される。これらのうち、二番目の科学性原則と三番目の趣味性原則は言語学習に関しての編纂建議である。四番目の柔軟性原則は都会と農村の差異が大きい中国において、その地域差のバランスを取るために一定の自由度を与えるということである。これらの4原則のうち、一番目の思想性原則のみに国際理解教育に対して具体的な要求が入っているため、以下では思想性原則に焦点を当てて考察する。

### ①思想性原則

英語教材は英語教学の主な内容と手段だけではなく、生徒に対して思想品德教育を行う重要な媒介である。

ア 外国文化の精華と中国と外国の文化の相違点・共通点を理解させること。

イ 生徒たちの文化鑑定能力を高めて、民族自尊心・自信・誇りを樹立して、生徒たちの正しい人生観と価値観の形成を促進すること。

ウ 教材の中で一定比率の中国文化の内容を編纂して、積極的に愛国主義教育・社会主義の核心的な価値観・中国中華伝統美德教育及び民主と法制教育を浸透させること。

(中華人民共和国教育部, 2011 筆者翻訳)

上記のように、思想性原則で述べられていることは、英語教材は英語教育の主な内容と手段としてだけではなく、生徒に対して思想品德教育を行う重要な媒介であるということである。そして、編纂提案は単に自国の文化だけではなく、思想品德に関わる内容も含んでいるのである。

以上の分析から、次の四つのことが分かる。まず一つ目は中国が外国文化を理解して学ぶことより、自国の文化を理解して宣伝することを重視しているということである。次に、中国の義務教育英語科の目標には学習対策という目標が入っていることである。中国の課程標準の学習対策の目標から中国は英語スキル面を重視するとともにコミュニケーションを重視していることも分かる。最後に、中国の教材にたいしての編纂提案は単に自国の文化だけではなく、思想品德方面の内容も含んでいることである。英語教材に対しての編纂建議の中で中国は思想性原則という観点を最初に提示しており、このことから中国が思想性原則を非常に重視していることが分かる。

## 2. 国際理解教育構成要素の分析

次に、英語テキストの国際理解教育題材を分析するためには、何をもちいて国際理解教育題材とするか、その分析のための枠組みを作る必要がある。そこで中国と日本の代表的な国際理解教育関連の文献を選んで、それらを統合し、分析の枠組みを作ることとする。

中国で国際理解教育という言葉が聞かれるようになったのは、比較的近年のことである。2010年7月に中国で中国教育部によって『国家中長期教育改革と発展計画概要』が告示されてから、中国の国際理解教育は確実かつ急速に発展してきた。ただし、日本の国際理解教育と比べて中国の国際理解教育はまだ発展の初期である点異なる。このように国際理解教育の歴史の浅い中国でも、近年国際理解教育に関する研究がなされるようになった。以下ではそれらの中で比較的体系的に整理されている中国の代表的な二つの視点につ



いて見ていく。それは姜英敏の視点と『認識世界』『理解世界』『走向世界』（世界に向かって歩もう）という深圳市宝安区教育科学研究育成中心によって編集されたテキストの視点である。姜英敏の視点を中国の代表的な視点として引用する理由は、彼女は日本の大学で国際理解教育を学んで中国に持ち帰り、日中両国の視点をまとめている研究者であるからである。つまり、姜の視点は既にある程度日本と中国の双方を包括した視点であるといえる。そして、もう一つの文献、『認識世界』『理解世界』『走向世界』というテキストの視点を中国の代表的な視点として引用する理由は、この三冊のテキストは中国の清華大学出版社という教育に大きな影響力を持つ、権威ある出版社から出版されたテキストだからである。

まず、姜英敏（2007）は国際理解教育の目標を①「国際意識」の涵養、②平和教育、③、国内少数民族文化の理解、④ 海外に対する基礎知識や文化理解の方法、⑤持続可能な発展についての教育、⑥愛国教育の六つに分類している。

次に、深圳市宝安区教育科学研究育成中心編集の『認識世界』『理解世界』『走向世界』というテキストは、『国家中长期教育改革と発展計画概要』が告示された後で出版された本であり、その目的は国際理解教育を促進し、国際交流を推進し、学生たちが違う国家、異文化に対してもつ認識と理解を増強することと国際視野を持って国際規則を把握し、国際業務と国際競争に参加できる多くの国際化人材を育成することである。筆者はこの三冊の中に含まれている国際理解教育の目標を①国際視野の育成、②異文化理解、③自文化理解、④環境開発教育の四つのカテゴリーに分類した。

姜と教育科学研究育成中心の二つの視点に共通している部分は、国際視野・国際意識育成、異文化理解、自分理解及び環境開発教育である。しかし、姜の視点は平和教育と愛国教育も含んでいる。従って、中国の視点の中では、姜英敏（2007）の視点の方が国際理解教育を幅広くとらえている。

日本では多くの研究者と研究機関が各々の国際理解教育カテゴリーに関しての視点を出しているが、それらは違う立場に基づいて作られており、よって視点の内容も勿論違う。筆者はその中から、大城（2001）が英語教育と国際理解教育の接点を論じた中で最も広義であるとした、財団法人中央教育研究所（1991）が出している視点である①自文化理解、②異文化理解、③コミュニケーション能力、④人権尊重、⑤グローバル的視野、⑥日本人としての素養、⑦平和、⑧人間教育を、日本の代表的な視点として取り上げる。

日本の財団法人中央教育研究所（1991）の視点と中国の姜英敏（2007）の視点を比較すると両方とも共通している部分は①グローバル的視野・「国際意識」の涵養、②異文化理解・国内少数民族文化の理解と海外に対する基礎知識や文化理解の方法、③平和、④自文化理解である。それに対して、異なる点としてあげられるのは日本の中央教育研究所（1991）の視点には持続可能な発展についての教育と愛国教育という内容が入っていないこと、中国の姜英敏（2007）の視点にはコミュニケーション能力、人権尊重、日本人としての素養（中国の場合は、中国人としての素養となる）、人間教育という内容が入っていないことである。

中央教育研究所の視点と姜英敏の視点に基づいてそれぞれの不足点を補足し、改めて新しい国際理解教育カテゴリーに関しての視点を作り出したのが以下の十項目である。①国際意識、②平和、③異文化理解、④ESD（環境）、⑤国内少数民族文化の理解、⑥愛国教育、⑦自文化理解、⑧人権尊重、⑨、日本人・中国人としての素養、⑩人間教育。

次節ではこれらの項目に照らして教科書に含まれる国際理解教育教材を選び、中国の英語の教科書に見られる国際理解教育にはどのような特徴があるかを分析していく。

### 3. 教科書分析

前節では、中国の研究者や公的機関による国際理解教育の概念について述べた。しかし、この概念は理論的なことであり、教育現場の実践とは異なる可能性がある。従って、実際に英語の授業の中でどのような実践が行なわれているのかを知るためには、中国の教科書の国際理解教育題材を分析する必要があると考えられる。中国では授業は教科書を用いて進められるのが原則だからである。本稿では中学校の英語教科書に含まれる国際理解教育題材の分析を通して、中国で実際にどのような国際理解教育が行なわれているのかを明らかにしたい。

上記の目的のために、中国の中学校の代表的な英語教科書を選ぶこととした。中国国内の中学校で採用されている英語教科書は4種類ある。中学校英語教科書の採択率は公表されていないが、この中で一番代表的な教科書は、人民教育出版社のGO FOR ITと考えられる。その理由は、人民教育出版社は中国の教育部に直

属している出版社であり、義務教育段階及び高校の教科書の出版を専門とする出版社だからである。

筆者は人教版の *GO FOR IT* の国際理解教育題材を2つの視点に基づいて比較して分析する。まず前節で作りに出した国際理解教育の各カテゴリに関する題材の数を数えることによって、量的な分析を行う。それによって、国際理解教育のどのカテゴリに関するものが多いか、そのそれぞれの教科書の題材の中での割合がわかる。また、中国の国際理解教育に対する注目点もわかる。次に国際理解教育題材を質的に分析する。その際には、その題材をただ問題の現状を知識として紹介するのか、問題の現状の紹介だけではなく問題に対する危機意識を持たせる態度の変化を促そうとするのか、更に問題の現状を紹介し問題に対する危機意識も持たせて生徒に何らかの行動を呼びかけることなのかの順に重視する程度は上がるものとし、この3つの観点によって分析する。

### 3-1 教科書題材まとめ

まず中国の2014年発行の人教版の *GO FOR IT* の国際理解教育題材を見ていく。中国の人教版中学校教科書は全五冊で構成される。具体的には以下の通りである。

#### 1. 一年生・上冊教科書

単元：なし。

一言メモ：

①英語の名前が性別によって異なる特徴を持つこと。(異文化理解) p. 55

一般状況で英語圏出身の人の名前からその人の性別がわかる。(例：Paul という名前を使うのは男子、Helen という名前を使うのは女子など)

②英語が話されている国の人々の姓と名に関すること。(異文化理解・自文化理解・国際意識) p. 56

英語が話されている国の人々の名前も姓と名を分けている。しかし、英語が話されている国の人々の姓と名の順番は中国人の姓と名の順番とは違う。中国人の名前は姓が先で名が後ろについている。それに対して、英語が話されている国の人々の名前は名が先で姓が後ろについている。

③中国と外国の家族親戚の呼び方の文化差異。(異文化理解・自文化理解・国際意識) p. 56

中国は家族親戚の関係を詳しく分けている。呼び方を通して、親戚の性別とお互いの世代順と血縁関係等がすぐわかる。それに対して、英語国家は家族親戚の関係を詳しく分けていない。(例：grandfather、uncle、aunt、cousin 等)

④西洋食品(ハンバーグとサラダ)に関すること。(異文化理解) p. 60

ハンバーグとサラダについての基本的な紹介である。ハンバーグとサラダの定義及び種類を説明する。

⑤学校活動日(異文化理解) p. 63

イギリスとアメリカの小学校及び中学校は学生たちの課外活動を非常に重視して、学生たちの生活を豊かにするためと彼らの社会能力を育成するために、毎年様々な課外活動が行われている。

#### 2. 一年生・下冊教科書

単元：

① Crossing the River to School (人権尊重) Unit 3 p. 17

中国の貧困地域の学生たちの通学手段の現状が紹介されている。

② Let's Save the Elephants (ESD (環境) (環境教育)) Unit 5 p. 29

タイの象に関する基本的な知識と生存環境が紹介されている。

③ The Dragon Boat Festival (自文化理解) Unit 6 p. 35

中国の端午節が紹介されている。

④ Birthday Food Around the World (異文化理解・自文化理解・国際意識) Unit 10 p. 59

西洋国家の誕生日の食べ物(特にイギリス)と中国の誕生日の食べ物が紹介されている。

一言メモ：

① 西洋国家小・中学校のクラブ文化の紹介。(異文化理解) p. 73

西洋国家の小・中学校は様々なクラブを創ることを通じて、学生たちの趣味と才能を高めて彼ら

の文化生活を豊かにさせる。

②英語の諺の紹介。(異文化理解) p. 80

There is no place like home. East or west, home is best.

### 3. 二年生・上冊教科書

単元：

① The article about Greenwood Park. Unit4 p. 31 (異文化理解)

Greenwood Park が簡単に紹介されている。

② Mickey Mouse and Walt Disney. Unit5 p. 37 (異文化理解)

アメリカの卡通ウーン Mickey Mouse と Walt Disney が紹介されている。

③ The movie of Mulan. Unit5 p. 39 (自文化理解)

花木蘭の映画が紹介されている。

④ The conversation about Russian soup. Unit8 p. 58 (異文化理解)

ロシア料理(ロシアのスープ)の作り方が紹介されている。

⑤ Thanksgiving in the United States. Unit8 p. 61 (異文化理解)

感謝祭の由来と感謝祭の食べ物(turkey dinner)の作り方が紹介されている。

⑥ Yunnan Rice Noodles. Unit8 p. 63 (自文化理解)

中国雲南省の米粉の作り方が紹介されている。

一言メモ：

① Central Park. p. 82 (異文化理解)

アメリカニューヨークの Central Park の基本的な情報が紹介されている。

② Penang Hill and Weld Quay. p. 82 (異文化理解)

マレーシアの Penang Hill と Weld Quay が簡単に紹介されている。

③ Swing dance. p. 83 (異文化理解)

Swing dance についての簡単紹介。

④ 英語の諺の紹介. p. 84 (異文化理解)

Old habits die hard.

⑤ The Old Man and the Sea by Hemingway. p. 88 (異文化理解)

ヘミングウェイと彼の作品(老人と海)が紹介されている。

⑥ Surprise party. p. 91 (異文化理解)

西洋国家の Surprise party に関しての文化が紹介されている。

### 4. 二年生・下冊教科書

単元：

① Bus Driver and Passengers Save an Old Man. Unit1 p. 3 (中国人としての素養)

② He Lost His Arm But Is Still Climbing. Unit1 p. 6 (中国人としての素養)

③ Students Who Volunteer. Unit2 p. 11 (中国人としての素養)

④ The Storm Brought People Closer Together. Unit5 p. 35 (中国人としての素養)

⑤ Do You Remember What You Were Doing? Unit5 p. 38 (平和)

マーティン・ルーサー・キング・ジュニアが暗殺されたことと9・11事件(2001年のアメリカ同時多発テロ事件)が簡単に紹介されている。

⑥ The conversation about the story of Yu Gong. Unit6 p. 43 (自文化理解・中国人としての素養)

愚公山を移すという物語が簡単に紹介されている。

⑦ Journey to the West. Unit6 p. 43 (自文化理解・中国人としての素養)

西遊記の人物孫悟空が紹介されている。

⑧ The Emperor's New Clothes. Unit6 p. 45 (異文化理解)

(裸の王様)という作品が簡単に紹介されている。

⑨ Qomolangma-the Most Dangerous Mountain in the World? Unit7 p.51 (自文化理解・中国人としての素養)

エベレストに関しての基本情報が紹介されている。そして、登山者がエベレストに挑む理由が紹介されている。

⑩ Let' s save the pandas. Unit7 p.54 (ESD (環境))

パンダに関しての基本的な知識と生存環境が紹介されている。

⑪ A Country Music Song Changed Her Life Forever. Unit8 p.62 (異文化理解)

アメリカのカントリー・ミュージックが紹介されている。

⑫ The Museums around the world. Unit9 p.67 (異文化理解・自文化理解・国際意識)

アメリカのコンピューター博物館、インドのトイレ博物館及び中国杭州の緑茶博物館が紹介されている。

⑬ Singapore - A Place You Will Never Forget! Unit9 p.70 (異文化理解)

シンガポールに関しての基本的な観光情報が紹介されている。

⑭ The Yard Sale. Unit10 p.75 (異文化理解)

外国のYard Saleに関しての知識が紹介されている。

⑮ Hometown Feelings. Unit10 p.78 (自文化理解)

中国の農民工(農村から都市への出稼ぎ労働者)の現状及び彼らが自分の実家に対する感じの変化。

一言メモ：

① World Trade Center and September 11 attacks. p.88 (異文化理解・平和)

世界貿易センターと2001年のアメリカ同時多発テロ事件が紹介されている。

## 5. 三年生教科書

単元：

① Full Moon, Full Feelings. Unit2 p.11 (自文化理解)

中国の中秋節の食べ物一月餅及び中秋節の起源に関しての物語が詳しく紹介されている。

② The Spirit of Christmas. Unit2 p.14(異文化理解)

イギリスの小説家であるチャールズ・ディケンズの代表作『クリスマス・キャロル』が紹介されている。

③ Chinese Tea. Unit5 p.34(自文化理解)

中国のお茶が簡単に紹介されている。

④ The Difficult Search for American Products in the US. Unit5 p.35(国際意識)

中国産商品の現状が紹介されている。

⑤ Beauty in Common Things. Unit5 p.38(自文化理解)

中国の伝統芸術は地域によって違う。中国の孔明灯文化、剪纸文化及び陶芸文化が紹介されている。

⑥ The Zipper! Unit6 p.42(国際意識)

ジッパーの発明が簡単に紹介されている。

⑦ An Accidental Invention. Unit6 p.43(自文化理解)

中国茶の発明及び中国のお茶の文化が紹介されている。

⑧ Do You Know When Basketball Was Invented? Unit6 p.46(異文化理解)

バスケットボールの起源及び現在世界中に広がっているバスケットボール文化が紹介されている。

⑨ Stonehenge-Can Anyone Explain Why It Is There? Unit8 p.62(異文化理解)

世界中に最も有名な先史時代の遺跡であるイギリスのストーンヘンジが紹介されている。

⑩ Sad but Beautiful. Unit9 p.70(自文化理解)

中国の有名な民間音楽家である阿炳及び彼の代表作『二泉映月』が紹介されている。

⑪ A Colombian and A Swiss Student. Unit10 p.75(異文化理解)

コロンビアとスイスにおける時間意識の差異及びコロンビア人の挨拶の仕方が紹介されている。

⑫ An Exchange Student In France. Unit10 p.78(異文化理解)



フランスのテーブルマナーが紹介されている。

⑬ April Fool's Day. Unit12 p.94(異文化理解)

エイプリルフールが紹介されている。

⑭ Save The Sharks! Unit13 p.99(ESD(環境))

中国のフカヒレの食文化と現在サメの生存環境が紹介されている。

⑮ Rethink, Reuse, Recycle! Unit13 p.102(ESD(環境))

環境汚染の現状及びゴミリサイクルの例が紹介されている。

一言メモ：

① Alexander Graham Bell. p.114(国際意識)

アレクサンダー・グラハム・ベルはスコットランド生まれのアメリカの発明家、企業家、工学者である。彼は世界初の電話の発明で世界で知られている。

② Christmas. p.115(異文化理解)

クリスマスが簡単に紹介されている。クリスマスとは毎年12月25日にキリスト・イエスの誕生を祝う日である。

③ Easter. p.115(異文化理解)

復活祭が簡単に紹介されている。

④ Halloween. p.115(異文化理解)

ハロウィンについての簡単な紹介である。

⑤ Cha Jing. p.121(自文化理解)

『茶経』とは中国のお茶に関して中国の唐朝の陸羽が著された書物である。

⑥ Wild Aid. p.131(ESD(環境))

Wild Aidとは野生動物及び野生動物の生存環境を保護することを目的としてアメリカの非政府非営利組織である。

⑦ WWF. P.131(ESD(環境))

WWFとは世界中に最大の有名な非政府環境保護組織である。

### 3-2 量的分析

以上述べてきた教科書中の国際理解に関係する教材の数を、国際理解教育のカテゴリーに示したのが次の表1である。題材数の結果は一つの題材が一つのカテゴリーに対応するのではなく、一つの題材に複数の国際理解教育の要素が入っている場合もある。例えば、中国人教版一年生の上冊教科書の一言メモの二番目の題材では、異文化理解要素だけではなく自文化理解と国際意識要素も含まれている。

表1 人教版 GO FOR IT の国際理解教育題材数

カテゴリー	国際意識	平和	異文化理解	ESD(環境)	自文化理解	人権尊重	中国人としての素養
数量	7(単元:4 一言メモ:3)	2(単元:1 一言メモ:1)	33(単元:16 一言メモ:17)	6(単元:4 一言メモ:2)	17(単元:14 一言メモ:3)	1(単元:1 一言メモ:0)	7(単元:7 一言メモ:0)

表1から見ると、人教版の題材数量の上位三位は異文化理解(33)、自文化理解(17)、国際意識(7)及び中国人としての素養(7)ということが分かる。そして、人教版の教科書では、国内少数民族文化の理解、愛国教育及び人間教育に関する題材はない。

### 3-3 重視する程度に基づく分析

知識段階、態度段階及び行動段階の三つの段階に基づいて国際理解教育の題材を分類し、各段階の国際理解教育要素の題材の数をまとめることによって、各要素をどの程度重視しているかを示したのが表2である。

表2から、人教版教科書では、中国人としての素養に関する題材、異文化理解に関する題材、自文化理解に関する題材、国際意識に関する題材の4つの国際理解教育要素に関する題材の数が、知識段階及び態度段

階において他の国際理解教育の要素より多く、よって他の要素よりも重視されていることが明らかとなった。それに対して、国内少数民族文化の理解、愛国教育及び人間教育に関する題材は含まれていなかった。

表 2 各段階の各国際理解教育要素の数

要素 段階	国際意識	平和	異文化理解	ESD (環境)	自文化理解	人権尊重	中国人としての 素養
知識段階	4	1	23	2	8	0	2
態度段階	3	1	10	1	9	1	5
行動段階	0	0	0	3	0	0	0

## おわりに

本稿の中国義務教育英語科目標の分析では、以下の3点が明らかになった。それは、中国が自国の文化を理解して宣伝することを、外国文化を理解して学ぶことや、他の要素と比較してより重視していること、学習対策という目標が入っていること、コミュニケーションを重視していることである。しかし、同目標と人教版 *GO FOR IT* の分析結果を併せて見ると、一つの相違点があることが分かった。それは、人教版の教科書では中国の文化だけでなく外国文化も重視しているということである。これは、量的な比較だけでなく各要素を重視する程度から見ても言えることで、人教版の教科書は他の国際理解教育要素よりも異文化理解、自文化理解、国際意識及び中国人としての素養を重視していた。一方、国内少数民族文化の理解、愛国教育及び人間教育に関する題材は含まれていなかった。しかし、56民族から構成される現在の中国社会にとって、この3つ国際理解教育の要素は非常に重要であると考えられる。英語科の分析からはこの三つ国際理解教育に関する題材は見られなかったが、他の教科でこれらを重視している可能性も考えられる。教育課程全体でどのような国際理解教育が展開されているのかを明らかにするには、他教科についての検討が必要であるが、それは今後の課題としたい。

## 参考文献

- 中華人民共和国教育部 (2011) : 『英語課程標準』, 北京師範大学出版社.
- 中華人民共和国教育部 (2010) : 『国家中長期教育改革と発展計画概要』.
- 井上裕吉・堀内一男 (1994) : 『中学校 国際理解教育の進め方』, 教育出版.
- 姜英敏 (2007) : 「アジアにおける国際理解教育の現状と研究ネットワーク構築の可能性—中国の視点から」  
『国際理解教育』第13号, 134 - 137頁.
- 人民教育出版社・課程教材研究所・英語課程教材研究開発中心・CENGAGE Learning (2013) : 『GO FOR IT』,  
人民教育出版社.
- 核心素養研究課題組 (2016) : 「中国学生発展核心素養」 『中国教育学刊』.
- 大城賢 (2001) : 『英語科における国際理解教育の進め方』.
- 深圳市宝安区教育科学研究育成中心 (2012) : 『認識世界』『理解世界』『走向世界』, 清華大学出版社.